

09/30 柳川さんの「小田高 WEB の存在（楽園広場）」にコメント

3組 佐々木洋

寄稿「小田高 WEB の存在（楽園広場）」を拝読しました。

随分「惱天気」に拘っておられるんだなあと思いながら、自分自身が相当「惱天気」に Web11 と接してきたんだなあとも思ったりしました。

そこで、改めて「ノー天気」はどんな言葉なんだろうと思って、インターネットを検索してみたところ真っ先に以下のような記述がありました。

能天気読み方：別表記：脳天気、能転気。悩みなどなく、何も考えていないことを指す言葉。対義語として、些細なことにも気を病む「神経質」などが挙げられる。能天気は相手を蔑むようなニュアンスがあるのに対し、似た意味の「楽観的」は物事を良い方向に捉える考え方を意味する。

ああそうだ、柳川さんにしても私にでも「悩みなどなく、何も考えていない」状態にあるわけではなくて「相手を蔑むようなニュアンス」をもって「脳天気」という言葉を用いているのだから何も「神経質」とらえる必要はないのだと「楽観的」な気分になりました。

また、「小田高WEBの存在（その2）」では、「3組S」に対して過分なお言葉をいただき“恐れおののいて”います。私がしていることは、「ノー天気」の言葉と同じようにインターネットから情報を得て、それを我が文章に採り入れているだけの話です。

特にバーチャルトリップ記については、インターネット情報を検索整理しているうちにリアルトリップをしたような気分になれます。まだまだ、行ったことがない素敵な場所が多いので、これからもあちこちとバーチャルトリップしてみたいと思っています。

柳川さんは今道さんから「書くは自分を確立し、読むは自分を省みる」という素晴らしい言葉を贈られたようですが、私は東芝を定年退職した後に日本語教育の仕事に携わって「教えること（情報の提供）は学ぶこと（情報の収集）なり」ということを実感しました。

ここから「ノー天気」に「書くこと（情報の提供）は読むこと（情報の収集）なり」として書くことと読むことを楽しんでいるのですから、「ノー天気」もまんざら捨てたものじゃないぞと改めて思い直しています。

これからもお互いに「ノー天気」に Web11 の投稿件数を競い合うことにしましょう。私が中学校時代から親しくしてきた山本哲照兄(7組)も、寄稿「うわさの“西部の三悪人”拝読」のコメント欄で柳川さんに対して大関心を示しているではありませんか。

柳川さんからも山本兄に「もっと記事を小出しにして Web11 の投稿件数を競い合うことにしましょう」と声をかけてやってください。私も 3 組クラス幹事の遠藤紀忠兄（歌手の島田祐子さんの兄上）に 3 組勢の Web11 投稿を促進するよう声をかけてみることにします。

草々

2022/10/2 辻堂より 佐々木 洋 拝